

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年二回の火災や地震、水害における防災訓練を行っているが、避難誘導のマニュアルが職員間で十分に周知されていない。また、日中帯と夜間帯のマニュアルが区別されていない。	日中帯・夜間帯の避難経路、手順、段取り等の区別化を明確にしたうえで、それを職員全員が周知、把握できる。	これまでの防災訓練や勉強会に加え、定期的に職員全員でシミュレーションを行う機会を設ける。実際にシミュレーションを行うことで各自、避難経路、手順、段取りの把握の強化に努める。	6ヶ月
2	2	コロナ感染拡大により研修、勉強会、行事等の開催、参加が難しくなっている中で事業所や地域とのつながりが希薄になってきた。	対面、対人での関係だけにとらわれず多面的な視点、方法をもってつながりや関係性を築くことができる。	啓発パンフレット等を作成してホームの前に地域住民の方が気軽に手に取れるよう設置場所を設ける。また、そこから相談援助も気軽に行えるように繋げる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。